

年間指導計画表(シラバス)

科目名	情報 I	単位数	2単位
		学年等	1年生

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を適切かつ効果的に活用し、必要に応じて情報を表現する能力を次の通り育成することを目指す。</p> <p>(1) 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。</p> <p>(2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。</p> <p>(3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書:『情報 I Step Forward!』(東京書籍)</p> <p>副教材:『ニューステップアップ 情報 I』(東京書籍)</p> <p>『ポイントでマスター 基礎からはじめる 情報リテラシー』(実教出版)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身につけているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善している。
評価点	400点	400点	400点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	1章 情報社会 ワープロソフトの活用 (Microsoft Word)	考査 実技テスト タイピングテスト	考査 実技テスト タイピングテスト 成果物	ワークシート プリント 成果物
	2章 情報デザイン 表計算ソフトの活用 (Microsoft Excel[基本])			
	評価点	200点	200点	200点
後期	3章 プログラミング 表計算ソフトの活用 (Microsoft Excel[応用])	考査 実技テスト タイピングテスト	考査 実技テスト タイピングテスト 成果物	ワークシート プリント 成果物 プレゼンテーション
	4章 ネットワークの活用 プレゼンテーションソフトの活用 (Microsoft PowerPoint)		プレゼンテーション	
	評価点	200点	200点	200点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	1章 情報社会	17
		1. 情報とその特性	
		2. メディアとその特性	
		3. 問題を解決する方法	
		4. 情報の収集と分析	
	5	5. 解決方法の考案	
		6. 知的財産	
		7. 個人情報	
		8. 情報セキュリティ	
		9. 情報モラルと個人の責任	
	6	10. 情報技術の進歩と役割	
	11. 情報技術が社会に与える光と影		
	第1回考査		
	◆-----		
	7	2章 情報デザイン	18
		12. コミュニケーションとメディア	
		13. 情報のデジタル化	
		14. 数値の表現	
		15. 2進法の計算	
		16. 文字のデジタル表現	
8		17. 音のデジタル表現	
		18. 画像のデジタル表現	
		19. データの圧縮	
		20. デジタルデータの特徴	
		21. メディアと文化の発展	
9		22. ネットコミュニケーションの特徴	
		23. 情報デザイン	
		24. 操作性の向上と情報技術	
		25. 全ての人に伝わるデザイン	
		26. コンテンツ設計	
	第2回考査		
	◆-----		

【実習】
Microsoft Word
・入力のいろいろ
・体裁を整える
・表を作成する
・ビジュアルな文章を作成する
・情報モラルに関するポスターを作成する

【実習】
Microsoft Excel[基本]
・データを入力する
・計算をする
・体裁を整える
・グラフを作成する

後 期	9	3章 プログラミング 27. コンピュータの構成 28. ソフトウェア 29. 処理の仕組み 30. 論理回路	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【実習】 Microsoft Excel[応用]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな関数を利用する ・データベース的に利用する <p>プログラミング(JavaScript)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計算 ・繰り返し ・条件分岐 ・リスト ・乱数 </div>	18	
	10	31. アルゴリズムの表現 32. アルゴリズムの効率性 33. プログラムの仕組み 34. プログラミング入門 35. プログラムの応用			
	11	36. 問題のモデル化 37. モデル化の活用 38. シミュレーション 39. シミュレーションの活用			
	12	◆-----第3回考査			
	1	4章 ネットワークの活用 40. 情報通信ネットワーク 41. デジタル通信の仕組み 42. インターネットの利用 43. 安心安全を守る仕組み 44. 情報システム 45. さまざまな情報システム 46. 情報システムの信頼性 47. データの活用とデータベース		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【実習】 Microsoft PowerPoint</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単なプレゼンテーションを作成する ・オブジェクトを挿入する ・Excel の利用 ・効果的なプレゼンテーションをする <p>プレゼンテーション(グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループに分かれてプレゼンを行う </div>	17
	2	48. データの管理 49. データの収集と種類 50. データの分析 51. 不確実な事象の解釈 52. 2つのデータの関係			
	3	◆-----第4回考査			

5 その他

- 実習の空き時間にはタイピングソフトを活用し、入力の速度と正確性を鍛える。
- 成果物や提出物は常に締切を意識し、計画的に進める。
- 実技テストは追試を行います。